尼崎市 Amagasaki City

令和８年（2026年） ６月25日		
所　属	会計管理室	デジタル戦略部
所属長	柴田　成子	田中　秀幸
電　話	06－6489－6029	06－6489－6622

【会計ＤＸ】見積書や請求書の持参・郵送を不要に！
～地域事業者のニーズに応え、電子請求サービス「Haratte」を導入～

本市では、尼崎版“共創型スマートシティ”の実現を目指し、市民・事業者ニーズ等を踏まえたＤＸ推進に取り組んでいます。

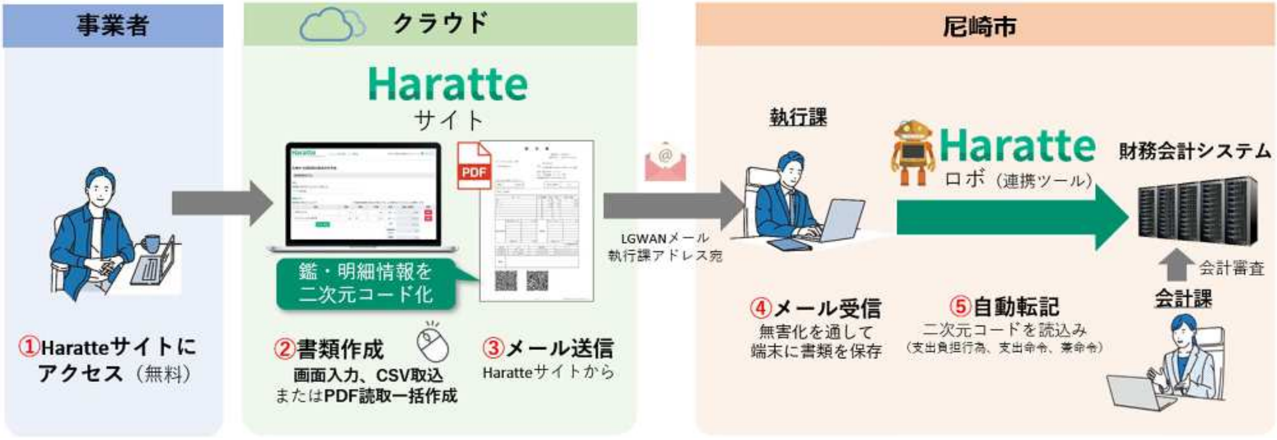
こうした中、**事業者ニーズ調査において、請求書や見積書等の電子化を求める声が多く寄せられた**ことから、令和８年（2026年）７月１日より電子請求サービス「Haratte（ハラッテ）」の利用を開始します。

本サービスの導入により、地域事業者における郵送や押印等の手続の手間・コストを削減するとともに本市職員の事務処理ミスを軽減し、**地域も含めたＤＸ、ペーパレス、スマートワーク環境の実現**を目指します。

１　電子請求サービス「Haratte」の概要

株式会社AmbiRise（アンビライズ）が提供する、自治体向けの電子請求サービスです。

事業者がHaratteサイトへアクセスし、Web上で作成した請求書等をシステム経由（メール）で自治体に送信できます。受け取った請求書等のデータは、Haratteロボ（自動連携ツール）を利用し、自治体の財務会計システムへ自動で転記されます。なお、事業者は本サービスを無料で利用することができます。



２　期待される効果（事業者・尼崎市双方のプロセス改革）

①　事業者のメリット

- 事務負担の軽減：請求書等の印刷・押印・封入・郵送・持参が不要に
- コ ス ト 削 減：郵送費や紙代、インク代等の経費を削減
- オンライン化：Web上で作成・送信できるため、来庁不要で請求手続が完結
- ミ ス の 防 止：入力補助等により、記載漏れや転記ミスを防止

②　尼崎市のメリット

- 事務負担の軽減：紙の請求書等の受領・確認にかかる事務を軽減
- 作業の省力化：財務会計システムへの自動転記により、手入力を大幅に削減

- ミ ス の 防 止：手入力の削減により、転記ミスなどを防止

３　利用開始日

令和８年（2026 年）７月１日（水）

４　利用方法

「Haratte」サイトで事業者登録を行うことにより、利用することができます。

※参照 URL：https://haratte.jp/

※事業者向けに説明会を開催する予定です。

５　「会計ＤＸ」に向けた今後の展望

会計事務の一連の流れをデジタル化する会計ＤＸの実現に向けて、今回の「電子請求」に加え、今後、「電子契約」、財務会計システム更改による「電子決裁」の３段階で取組を進めます。これにより、地域事業者の利便性の向上とともに事務処理の効率化を目指します。

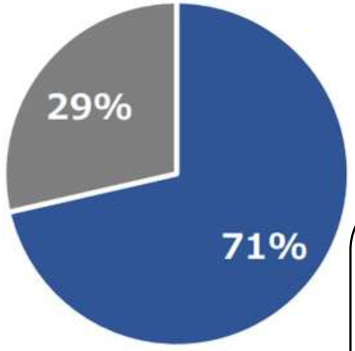
以　上

事業者の皆様の声をカタチに！電子請求サービスの利用開始

事業者のニーズ調査で要望が多かった**「請求書や見積書等の電子化」**を実現するため、
7月1日より電子請求サービス「Haratte（ハラッテ） 」の利用を開始します。

※ Haratteとは株式会社AmbiRise（アンビライズ）が提供する、自治体向けの電子請求サービス

事業者の声



R6年度事業者ニーズ調査
(n=49社)

■ 無料であれば利用したい
■ 利用したいと思わない

ニーズ調査において、
７割以上が請求書や見積書等の電子化を求めていた

- ✓ 請求書等の印刷を無くしたい
- ✓ 郵送料・郵送負担を軽減したい
- ✓ 来所せずに請求書等の提出がしたい
- ✓ 事業者側の押印を省略したい

これまでの課題

事業者

・紙の請求書の提出における作業工数の多さ（印刷、押印、封入、郵送、持参）

・郵送費や紙代などのコストが発生

・記載漏れや記載誤りの発生

尼崎市

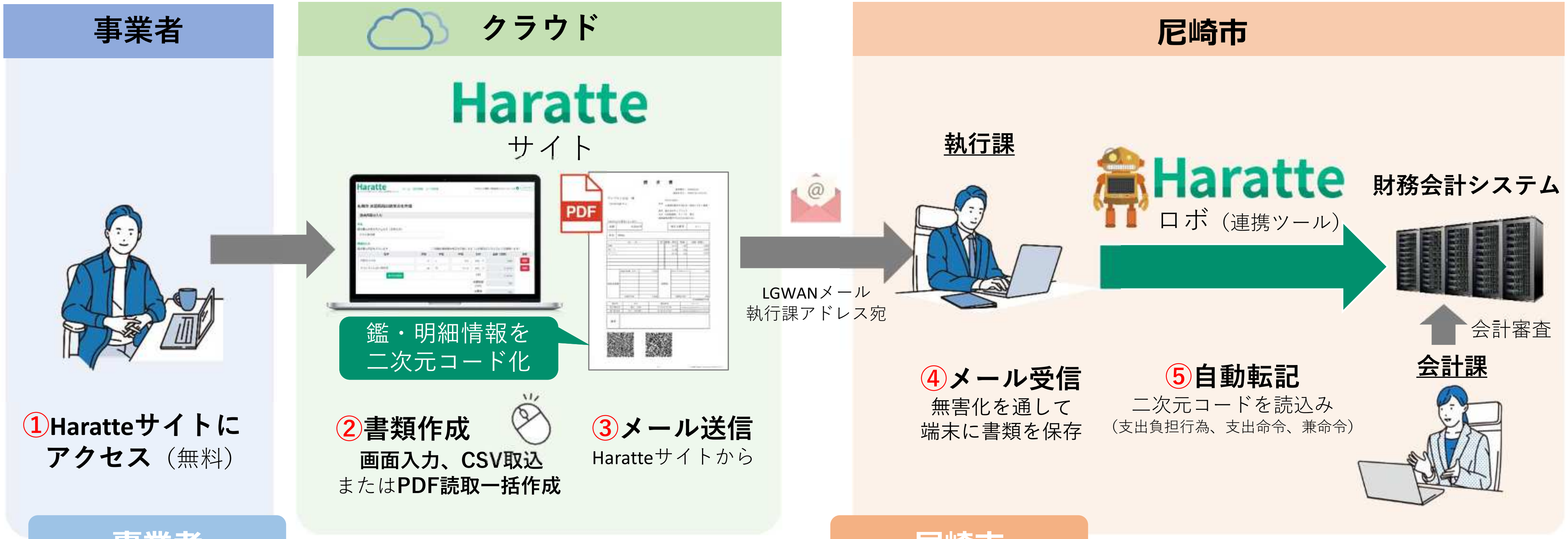
・紙の請求書の受領・確認における事務負担

・財務会計システムへの手入力や検算に伴う事務処理ミスと作業負荷の発生

これまでの紙ベースでの請求書等のやり取りは事業者・尼崎市双方にとって負担

電子請求サービス「Haratte」で実現できること

事業者は**完全無料**でPCから簡単に請求書等の発行・提出が可能となります。
WEB上で請求書等を作成し本市へ提出できるため、**印刷・押印・郵送・持参が不要**となります。



事業者

①請求書の発行時にHaratteサイトへアクセス
②画面入力、CSV取込またはPDF読取にて請求書PDFを生成
③PDFをメール送信

尼崎市

④請求書をメール受信
⑤HaratteロボにてPDFから二次元コードを読み込み、財務会計システムへ自動転記

事業者・自治体双方に広がる導入効果

請求書等の紙発行手続きを不要とすることで、**事業者の利便性向上と自治体の事務効率化を同時に実現**します。

事業者

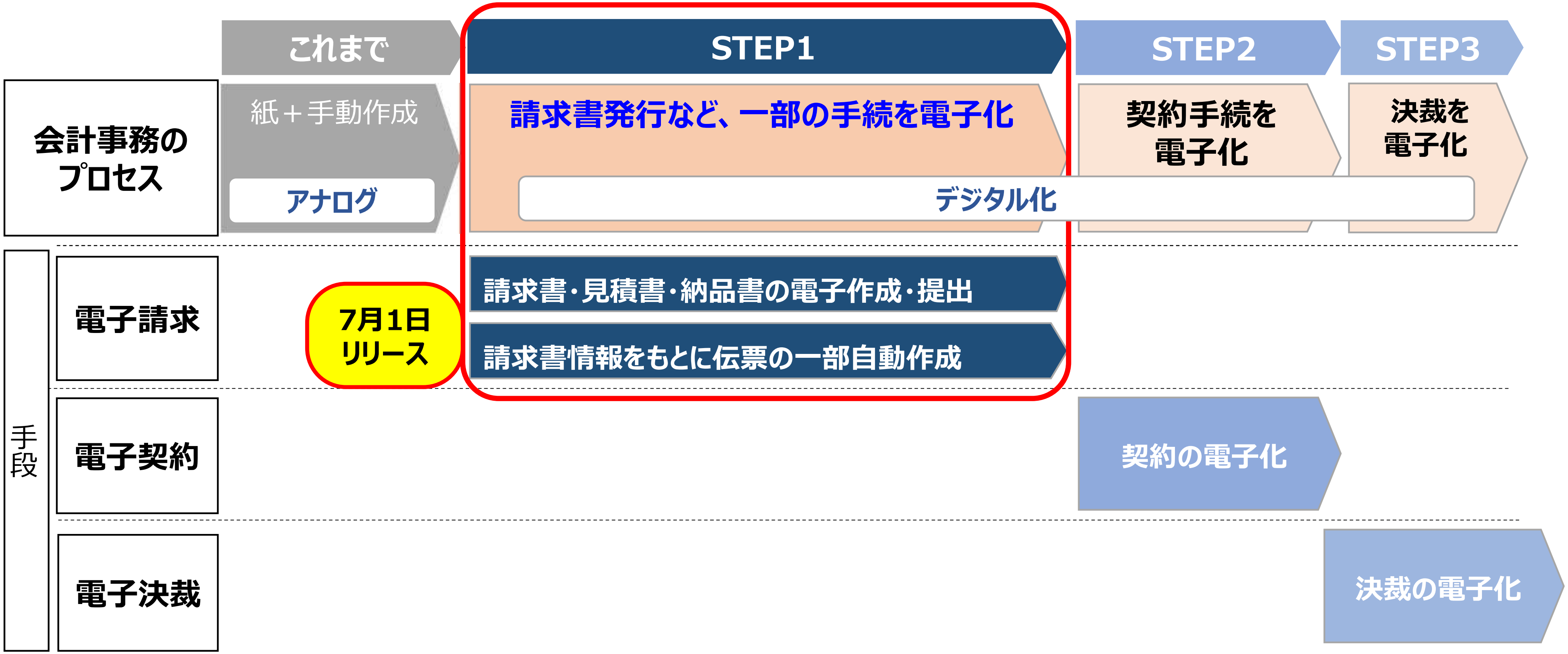
- 印刷・押印・封入・郵送・持参が不要
- 郵送費や紙代等の経費を削減
- 来庁不要で請求手続が完結
- 記載漏れや転記ミスを防止
- 経理事務全体の効率化

尼崎市

- 紙の請求書の受領・確認にかかる事務負担を軽減
- 財務会計システムへの自動転記による入力業務の省力化
- 手入力の削減で事務処理ミスを軽減
- 請求受付から支払事務までの流れを効率化

請求書発行の電子対応を契機に、地域のデジタル化を促進

「会計ＤＸ」の実現に向けた今後の展望

引用：あまがさき共創DXプラン2.0

今回の**「電子請求」**は会計ＤＸの実現に向けた第一歩です。今後、**「電子契約」**、財務会計システム更改による**「電子決裁」**導入の３段階で、**地域も含めたＤＸ、ペーパレス、スマートワーク環境の実現**を目指します。